

1 年次		電子オルガンコース					
		2 年次					
前期	後期	専門職	総合楽器店	一般職	専門職	総合楽器店	一般職
電子オルガンⅠ	電子オルガンⅡ	電子オルガンⅢ	電子オルガンⅢ	電子オルガンⅢ	電子オルガンⅣ	電子オルガンⅣ	電子オルガンⅣ
電子オルガンキャリア実践Ⅰ	電子オルガンキャリア実践Ⅱ	電子オルガンキャリア実践Ⅲ	電子オルガンキャリア実践Ⅲ	電子オルガンキャリア実践Ⅲ	電子オルガンキャリア実践Ⅳ	電子オルガンキャリア実践Ⅳ	電子オルガンキャリア実践Ⅳ
電子オルガン応用実践Ⅰ	電子オルガン応用実践Ⅱ	電子オルガン応用実践Ⅲ	電子オルガン応用実践Ⅲ	電子オルガン応用実践Ⅲ	電子オルガン応用実践Ⅳ	電子オルガン応用実践Ⅳ	電子オルガン応用実践Ⅳ
			P・O・アンサンブル				
		音楽指導研究	音楽指導研究		鍵盤楽器研究	鍵盤楽器研究	鍵盤楽器研究
ヴォーカルⅠ	ヴォーカルⅡ	ヴォーカルⅢ	ヴォーカルⅢ	ヴォーカルⅢ	ヴォーカルⅣ	ヴォーカルⅣ	ヴォーカルⅣ
ソルフェージュⅠ	ソルフェージュⅡ	ソルフェージュⅢ	ソルフェージュⅢ	ソルフェージュⅢ	ソルフェージュⅣ	ソルフェージュⅣ	ソルフェージュⅣ
音楽史Ⅰ	音楽史Ⅱ						
		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ
音楽総合特講Ⅰ	音楽総合特講Ⅱ	音楽総合特講Ⅲ	音楽総合特講Ⅲ	音楽総合特講Ⅲ			
ピアノ演習Ⅰ	ピアノ演習Ⅱ		ピアノ演習Ⅲ		ピアノ演習Ⅳ		
和声法Ⅰ	和声法Ⅱ		和声法Ⅲ		和声法Ⅳ		
	公務員・一般職対策Ⅰ	公務員・一般職対策Ⅱ	公務員・一般職対策Ⅱ	公務員・一般職対策Ⅱ			
		楽器店実習					
音楽理論Ⅰ	音楽理論Ⅱ					特別支援教育	
音楽心理学						社会福祉	
発達心理学							
子どもの保健							
教育原理							
	音楽療法演習						
	音楽療法・基礎	音楽療法・臨床	音楽療法・臨床		音楽療法・技法	音楽療法・技法	
		臨床における即興技法Ⅰ	臨床における即興技法Ⅰ		臨床における即興技法Ⅱ	臨床における即興技法Ⅱ	
					臨床実習(事前・事後指導を含む)	臨床実習(事前・事後指導を含む)	
音楽療法実践Ⅰ	音楽療法実践Ⅱ	音楽療法実践Ⅲ	音楽療法実践Ⅲ		音楽療法実践Ⅳ	音楽療法実践Ⅳ	
					ポピュラー音楽史	ポピュラー音楽史	
			和太鼓Ⅰ		和太鼓Ⅱ	和太鼓Ⅱ	
					作譜	作譜	
	スポーツ・レクリエーションⅠ	スポーツ・レクリエーションⅡ	スポーツ・レクリエーションⅡ		スポーツ・レクリエーションⅢ	スポーツ・レクリエーションⅢ	
教養科目・必修科目10単位							

- 卒業必修(1年次)
- 卒業必修(2年次)
- MT資格必修科目
- 選択科目

CP
① 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。
② 音楽を通して人間的な成長と専門的な知識と技術を学ぶための基礎教育と専門教育を実施する。
③ 地域社会の音楽文化の向上に貢献し、地域で求められる活動を学び推進させるために充実した学外演奏や学外ボランティア活動、実習を実施する。
④ 各コース担当者は授業時間内外で学生との対話に努め、能力に応じた指導を行い、個々の成長を支援する。
⑤ 学生は自ら専攻するコース以外でも選択可能な他コースの授業を受講することができ、広い知識を身につけることができる。
⑥ 音楽関係、心理関係の資格取得を支援する教育を実施する。

DP
① 音楽の基礎的な理論や曲の生まれた背景を理解し、人に音楽を伝えるための知識を修得することができる。
② 音楽演奏や教育を行うにあたって必要な理論を適切に判断し、相手の理解に応じて伝えることができる。
③ 音楽の専門家としての情報収集能力と技術をもち、関係職種と連携できるコミュニケーション能力がある。
④ 常に自己資質の向上をめざし、積極的に音楽を通して人と関わり、地域との連携、音楽文化の向上に向けた社会貢献を推進していくことができる。